

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長名
(公 印 省 略)

病害虫発生予察技術情報について

令和 3 年度病害虫発生予察技術情報第4号を発表したので送付します。

令和3年度病害虫発生予察技術情報第4号

露地野菜のシロガシラ対策について

シロガシラは11月頃から群れを形成し、露地野菜をはじめ多くの作物を加害します。防鳥網では場を被覆し、侵入を防ぎましょう。

1 発生生態

- (1) 1976年沖縄本島糸満市で確認された。その後本島全域並びに一部の周辺離島へも分布域を拡大した。
- (2) 体長は18.5cm前後で、ヒヨドリよりやや小型、前頭部が黒く後頭部は白いが、後頭部が黒い個体もある(図1)。
- (3) 繁殖期は3月～9月で、昆虫や木の実を食べる。
- (4) 11月～2月にかけて群を形成し(図2)、多くの作物を加害するが、レタス、キャベツ、カボチャ、スイートコーン、パレイショ等の露地野菜が被害が多い(図3～5)。

2 防除対策上注意すべき事項

- (1) 有害鳥獣駆除の許可にもとづき捕獲する(県知事の許可が必要)。
- (2) 2cm目合い防鳥網では場を被覆し、侵入を防ぐ(図6)。
- (3) 被害の多いほ場では周囲に餌場を設置し、被害の回避を図る。
- (4) 視覚、聴覚等の各刺激資材に対して、慣れが生じやすく、被害防止効果は薄い。



図1 成鳥:後頭部の白い個体(左)
と黒い個体(右)



図2 群れを形成したシロガシラ



図3 レタスの被害



図4 キャベツの被害



図5 カボチャの被害



図6 防鳥網による被害防止対策